

雲仙治山だより

発行・連絡先 / 長崎県島原振興局農林水産部林務課

〒855-8501 長崎県島原市城内1-1205 電話 0957-63-5073

令和3年(2021)年

10月発行

(vol.7)

赤松谷本流・極楽谷・炭酸水谷 調査観測結果

～土石流の発生は確認されていません～

気象庁によると今年の九州北部の梅雨入りは、平年より20日早い、5月15日頃、梅雨明けは平年より6日早い7月13日ごろと発表されました。

この梅雨の間に、調査の基準値(連続雨量280mm・時間最大雨量60mm)を超えたのは5月14日から5月21日までの連続雨量322mmのみでしたが、梅雨明けの7月14日に時間最大雨量77.5mmを観測しました。

また、8月には、11日から21日頃にかけて日本列島周辺に停滞した前線の影響で、西日本から東日本の広い範囲で大雨となりました。気象庁は広島県、長崎県、佐賀県、福岡県に大雨特別警報を発表し、九州地方や中国地方では土砂災害による人的被害の発生、河川氾濫に伴う家屋等の浸水など、多数の被害が発生しました。

この時の雲仙岳では、連続雨量が、8月の平均雨量の約5倍に近い1,486.5mm(8月7日から20日)、そして時間最大雨量は、12日に81.5mm、13日に80.5mmを記録しました。(図-1)

一方、9月の雨量については、調査の基準値(連続雨量280mm・時間最大雨量60mm)を超えませんでした。

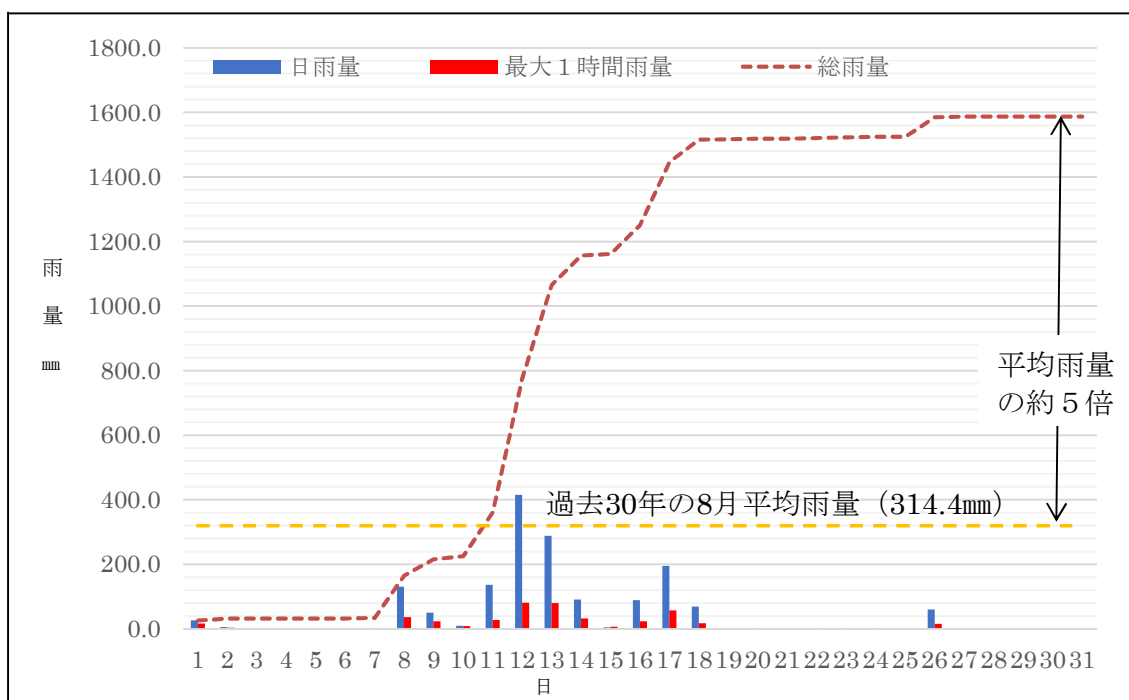


図-1 : 雲仙岳 2021年8月雨量グラフ

(気象庁/過去の気象データより)



写真－1：水無川流域（赤松谷本流・極楽谷・炭酸水谷）全景

これまでに現地調査及びドローンでの空撮等を行いました。赤松谷本流、極楽谷、炭酸水谷について、土石流の発生は、確認されませんでした。（写真－1）（写真－2）（写真－3）

ただし、炭酸水谷においては、月平均雨量の5倍に近い1,486.5 mmを記録した8月の豪雨の後、最上流の7号治山ダムの堆砂区域へ、土砂の流下が確認されましたが、7基の治山ダム群により、溪流の侵食の抑制と土砂や水の流れを整える機能が発揮されたことで、土石流が、発生しなかったものと推察されます。

炭酸水谷・極楽谷の状況



写真－2：梅雨明け後【7月15日撮影】



写真－3：8月豪雨後【9月30日撮影】